

「就職活動に役立つ業界研究」

琉球大学 工学部工学科 特別講義 4限目

「2日間でわかるITの基礎」

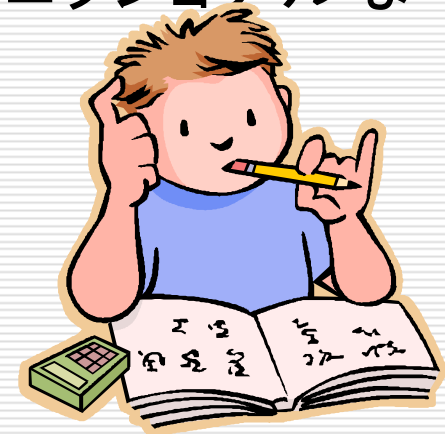
2017年8月15日

株式会社エス・キュー・シー
倉田 克徳

目次

□ 概要

1. 就職活動対象としてのIT業界
2. 就職活動対象としてのIT企業(関連職種)
3. IT業界は“ブラック”?
4. 技術職を職業とすることとは(プロフェッショナルな技術)
5. 技術者のマインド
6. 就職活動としての企業選択肢
7. まとめ



1. 就職活動対象としてのIT業界

□ IT“業界”は無くなりつつある？



2. 就職活動対象としてのIT企業 (関連職種)

- システム開発
 - SI企業、ベンダー、メーカー
- インフラ
 - ネットワーク系企業、通信機器企業、電話関連企業、通信施設敷設企業
- ゲーム
 - ゲーム機器メーカー、ゲームソフト開発会社、要素技術(VR,MR,MC,音声関連、自動読み上げ等)
- コンサルティングファーム
 - 業務プロセスコンサルティング、上流設計
- パッケージベンダー
- 派遣会社、BPO企業
- 各企業の情報システム関連部署(関連子会社)
- その他、事業会社(要素技術等)



3. IT業界は“ブラック”？



- 社会全体、業界全体で改善されてきた
 - 社会全体として労働法整備・改善がされている
- プロジェクトピークは避けられない
 - プロジェクト終了前が最も業務量のピーク
- 仕事のスタイル
 - 在宅、SOHO, 地方勤務→WiFiとPCがあれば仕事ができる



4. 技術職を職業とすることとは (プロフェッショナルな技術)

□ 金を稼げる技術

- プログラミングだけなら中学生、高校生でもできる
- アマチュア:プロフェッショナル→違い

□ プロフェッショナルとは

- お客様から対価を受け取るに等しい、あるいは、それ以上の満足を与えること



5. 技術者のマインド

□ 企業に所属する技術者

- 企業が求める技術を習得しなければならない→企業選択のポイント

□ 技術習得

- 技術習得は、企業が習得させてくれるものではない→個人で技術習得・研鑽をしなければならない
- 技術は、個人につく！→転職の武器！

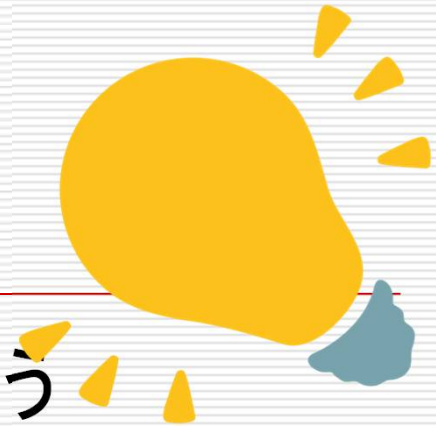


6. 就職活動としての企業選択肢

- 企業ニーズ、時期による需要と供給のバランス
 - 最新の情報の収集、状況の把握、傾向の分析
 - 企業は企業の都合で必要な人材を募集する
- 「バブル期」「就職氷河期」
 - 就職活動は、日本の経済状況に左右される
 - 習得した技術を強みにする
- 企業と自分のベクトルが一致するか？
 - これが一番重要！



7. まとめ



- IT技術者は、社会の基盤技術を担う
 - IT技術やあらゆる業界にまたがり、有機的に結合している
 - 「IT業界」はIT専門企業という意味になっていく
- 技術者である以上、技術習得・技術研鑽は個人で終生行っていかなければならない
- 人生設計をする
 - 仕事や企業を選ぶ前に、自分の人生設計をしておく(30歳でXXXになっていた、XXXをやりたい)